

担当科目名	時間数	単位数	担当教員氏名	略歴(関連資格・専門領域等・その他)
リハビリテーション概論	30	2	河野 孝範	理学療法士として急性期病院にて急性期リハに従事。その後診療所にて地域リハビリテーションとして訪問リハビリと外来リハビリ、通所リハビリを経験する。2000年に介護支援専門員資格を取得し、介護支援専門員として居宅介護支援業務も兼任する。現在、地域包括ケア推進リーダーと介護予防推進リーダーを取得し、地域貢献活動として地域の介護予防・認知症予防活動に従事している。
理学療法治療学 I-A(骨関節)	60	3	菊地 淳	理学療法士 修士(医療安全管理学)。 1998年、関西大学法学部卒業。医療法人福島病院に入職。事務部、薬剤部助手、放射線科助手を経て事務主任。 2002年、大阪医療福祉専門学校理学療法士学科夜間部に入学(1期生)。2006年、理学療法士国家資格取得。 2006年、医療法人福島病院リハビリテーション科入職。2010年より事務主任兼リハビリテーション科外来主任。 2007年より豊中渡辺病院(現・関西メディカル病院)スポーツ外来にて6年間臨床研修。同年よりよしだ整形外科スポーツ外来非常勤、緑かなざわ整形外科非常勤。一般社団法人アスリートケア(旧・スポーツ傷害理学療法研究会)会員。 2012年、大阪医療福祉専門学校入職(理学療法士学科専任教員)。2019年、滋慶医療科学大学院大学医療安全管理学専攻修了。兵庫県高等学校野球連盟医務スタッフ。全国高等学校野球選手権大会、選抜高等学校野球大会医務スタッフ。 東京2020パラリンピック競技大会 FOP Athlete Physiotherapist(競技会場選手用理学療法士)
疾患別動作分析学	30	2	疋田 佳希	理学療法士として9年間、急性期・回復期病院に勤務。その後、個人事業としてarukuck lab設立し、トップアスリートのリハビリ、足底板作成、歩行動作改善に従事される。現在は整形外科クリニックに勤務し運動器理学療法、スポーツ理学療法に携わっている。また、動作のバイオメカニクスに関する研究も行い修士号を取得。
義肢装具学	30	2	佐伯訓明 東山学史 才寛史 柴大樹	佐伯訓明： 理学療法士として病院にて整形外科・脳血管リハなどを中心に9年間勤務。 その後は整形外科クリニックに転職し勤務。運動器・スポーツ・脳血管認定療法士の資格を取得。 東山学史： 理学療法士として総合病院で10年臨床勤務し、脳血管疾患リハ、運動器リハ、呼吸器リハ、循環器リハビリに携わる。片麻痺の上下肢装具療法、脊髄損傷者の車椅子調整、運動器疾患患者等に歩行補助具の選定・指導、切断患者の義足リハビリテーションに従事。臨床業務に加え、パラスポーツに携わる。義肢装具と関連深い、パラ陸上・車いすテニス・パラスノーボードなどの競技でトレーナーとして活動。認定理学療法(運動器、スポーツ、健康増進・参加)、障がい者スポーツコーチ、中級障がい者スポーツ指導員、AHA-BLSインストラクター資格所持。 才寛史： 理学療法士として回復期リハビリテーション病院に5年間・訪問看護ステーションに2年間勤務し、回復期・維持期の脳血管疾患や整形外科疾患等を担当。脳血管疾患患者の下肢装具療法及び福祉用具の選定・指導、下肢装具適応の整形外科疾患患者等のリハビリテーションに従事。現在は整形外科クリニックに勤務し、整形外科疾患の外来リハビリを実施。脳卒中認定理学療法士、福祉住環境コーディネーター2級所持。 柴大樹： 理学療法士として総合病院に4年、整形外科クリニックで4年勤務し、運動器リハ、脳血管疾患リハ、呼吸器リハ、循環器リハビリに携わる。現在は臨床で下肢切断の方を担当する機会がある。認定理学療法(運動器、スポーツ、徒手)資格所持。
健康科学	30	2	黒川 圭子	保健・体育教諭中学高等学校、健康運動指導士の免許取得。平成13年より企業の健康作り教室、介護予防事業(大阪府・奈良県下公共事業)の運動指導に従事。
理学療法治療学 V-A	30	2	前田 和成	理学療法士として大学病院をはじめ急性期・慢性期の理学療法、地域にて在宅理学療法に17年間従事。特に呼吸器疾患の理学療法を専門とする。日本呼吸ケア・リハビリテーション学会会員。認定理学療法士(呼吸)、呼吸療法認定士、呼吸器疾患多数の研究実績あり修士取得。
			徳富 真洋	理学療法士として大学病院で心大血管疾患リハを中心に14年臨床勤務。その後10年、急性期病院での急性心筋梗塞、慢性心不全、心臓血管外科術後のリハ全般に従事。心臓リハビリテーション指導士年資格所持。
理学療法治療学 IV(発達)	30	2	和田 望	大阪発達総合療育センター・小児リハビリテーション病院にて11年勤務し、脳性麻痺(乳児～成人)の療育・リハビリテーションを中心に、重症心身障害児者、骨形成不全症、ダウン症やプラダウィリー症候群などの染色体異常、レッド症候群、発達障害の小児理学療法を実施。
理学療法治療学 I-B	30	2	菊地 淳	理学療法士 修士(医療安全管理学)。 1998年、関西大学法学部卒業。医療法人福島病院に入職。事務部、薬剤部助手、放射線科助手を経て事務主任。 2002年、大阪医療福祉専門学校理学療法士学科夜間部に入学(1期生)。2006年、理学療法士国家資格取得。 2006年、医療法人福島病院リハビリテーション科入職。2010年より事務主任兼リハビリテーション科外来主任。 2007年より豊中渡辺病院(現・関西メディカル病院)スポーツ外来にて6年間臨床研修。同年よりよしだ整形外科スポーツ外来非常勤、緑かなざわ整形外科非常勤。一般社団法人アスリートケア(旧・スポーツ傷害理学療法研究会)会員。 2012年、大阪医療福祉専門学校入職(理学療法士学科専任教員)。2019年、滋慶医療科学大学院大学医療安全管理学専攻修了。兵庫県高等学校野球連盟医務スタッフ。全国高等学校野球選手権大会、選抜高等学校野球大会医務スタッフ。 東京2020パラリンピック競技大会 FOP Athlete Physiotherapist(競技会場選手用理学療法士)
			沢田 咲実	理学療法士として整形外科と内科中心の急性期病院にて5年間勤務後、マタニティケアサロンや助産院で、自費診療にて産前産後女性の身体ケアに従事。(現在まで約6年間で、500症例以上を担当) その他、保健センターや子育て支援センターの母親教室に年6回～8回介入。 また5年前より、助産師向け講座にて骨盤基礎解剖学講座等を担当している。 関連資格：月経血コントロールヨガインストラクター、Pifirates(ピフィラテス)インストラクター、骨盤ケアリスト、バースセラピスト

生活環境論	30	2	波野 彩葉	理学療法士として、一般病院に勤務。急性期・回復期・訪問・外来リハに従事。
理学療法治療学Ⅵ	30	2	増井 健二	1999年より理学療法士として一般病院にて入院・外来・訪問の運動器リハビリテーションを中心に23年間の臨床経験を有する。術後の急性疼痛や外来の疼痛性疾患の急性・慢性疼痛患者(年間約60例)の臨床に従事。一方、2007年 米国セントオーガスティン大学の徒手理学療法認定試験を取得し、2011年 指導者資格を取得し我国の卒後理学療法士に対し徒手理学療法講習会指導に従事。2021年 日本理学療法士協会 認定理学療法士(徒手理学療法)取得。2022年 日本理学療法士学会連合 日本筋骨格系徒手理学療法研究会 理事としても活動。症例報告を中心に国内学会に11題、国際学会に2題、論文2題、書籍執筆(共著)1題。
神経内科学Ⅰ	30	2	山田 一貫	理学療法士として大阪回生病院・みどりヶ丘病院に勤務。急性期・回復期・訪問・外来リハビリテーションに従事。認定理学療法士(脳卒中)、介護支援専門員(ケアマネ)、学術修士取得。神経系学術発表多数。特にパーキンソン病関連の発表多数。
神経内科学Ⅱ	30	2	山田 一貫	理学療法士として大阪回生病院・みどりヶ丘病院に勤務。急性期・回復期・訪問・外来リハビリテーションに従事。認定理学療法士(脳卒中)、介護支援専門員(ケアマネ)、学術修士取得。神経系学術発表多数。特にパーキンソン病関連の発表多数。
精神医学	30	2	佐野 祥子	精神科医として大阪市立大学、大阪市立総合医療センター、阪南病院にて勤務。16年の臨床経験。精神神経学会専門医・指導医。臨床研修指導医。
理学療法治療学Ⅱ-A	30	2	稲村 一浩	S59年より現在のJCHO星ヶ丘医療センター勤務で現在理学療法士長 H20年ボバース概念国際インストラクターとなり、神経生理学的背景での理学療法の研修会を毎年開催、日本PT協会主催の片麻痺講習会・脊損講習会、関節運動療法の講師も毎年開催 学校講師歴15年 長期PTOT講習会終了、現在 社団法人枚方市理学療法士会会長で卒後教育を中心に活動している。
理学療法治療学Ⅱ-B	30	2	宮下 創	理学療法士として兵庫県立総合リハビリテーションセンターに3年、JCHO星ヶ丘医療センターに8年勤務。2つの病院で脊髄損傷者に対するリハビリテーションに従事。2017年に認定理学療法士(脊髄障害)、2018年に認定理学療法士(脳卒中)を取得。担当症例数は頸髄および脊髄損傷例を合わせて50例以上を担当している。脊髄損傷に関する学会発表は筆頭演者7演題、共同演者11演題、総説論文1編。教育業績は理学療法士養成校(専門学校)にて2017年より「脊髄損傷のリハビリテーション」の授業を毎年12コマ担当。2020年に森ノ宮医療大学大学院保健医療学研究科保健医療学専攻修士課程を卒業し保健医療学修士を取得。修士過程では「頸髄損傷者の嚥下障害」について研究。日本理学療法士協会会員、日本神経理学療法学会一般会員、日本脊髄障害医学会会員、日本摂食嚥下リハビリテーション学会会員、日本嚥下医学会会員。枚方市理学療法士会生涯学習部および臨床教育部部員。
理学療法治療学Ⅴ-B	30	2	福井 浩之	理学療法士として総合病院にてリハビリテーションを18年経験。ICUにて糖尿病性の急性昏睡で集中治療される患者から、糖尿病の教育入院患者に糖尿病の運動療法を指導。糖尿病症例としては年間50症例以上。内部障害専門理学療法士を取得。がんのリハビリテーション研修会修了。
理学療法管理学	30	2	高木 綾一	理学療法士として12年間病院に勤務。急性期～維持期、訪問リハなど様々で分野で臨床に従事。また、リハビリテーション部部長、事務部長としてマネジメントにも関わる。その後、(株)work shift設立し医療・介護・健康産業に従事する人々へのライフデザイン・キャリアデザインの支援を行っている。現在も訪問リハ・外来クリニック・アスリート指導にて臨床に従事。キャリアコンサルタント資格取得。学位は学術修士(MA)・経営管理学修士(MBA)を有している。また、複数の理学療法士養成校にて理学療法管理学の講義を担当している。